

平和の集い ~ 歴史から今を学ぶ 平和の大切さ再確認 ~

令和 8 年 8 月 9 日、第 14 回『平和の集い』がクリニックふれあいの隣のラ・ポルタ訓練室にて行われました。

「本日は長崎に原爆が投下されてから 81 年目です」。開会の言葉に続いてウクレレサークルの演奏で二度と広島、長崎を繰り返すな！の思いを込めて「原爆を許すまじ」「長崎の鐘」など合唱。

その後、映画「木の上の軍隊」を観賞。実話に着想を得た井上ひさし原案の舞台劇を映画化。沖縄県伊江島に米軍が侵攻、激しい攻防の末、終戦に気がつかないまま 2 年間に大きなガジュマルの木の上で過ごす。宮崎県出身の少尉と沖縄県出身の新兵の二人。援軍を待ちながら恐怖と飢えに耐え続ける。映画の終盤、上官に向かって「帰りたい！（家族の元へ）」と訴えたシーンが印象深かった。言いたい事が言える世の中ではなくてはいけないと改めて思いました。



<懇談会では>

◎いま世界のあちこちで紛争が起こり、終わりが見えない。国内では「数の力」で前のめりに戦争準備が進み防衛費はこれまでの 2 倍になり、その為の増税が進み、社会保障費削減で医療機関の廃業、事業の縮小が起きている。

『平和の集い』は「戦争につながる国づくり」をさせてはならないとの思いを込めて毎年 8 月に開催しています。と友の会事務局長より発言。

▲みさと健和病院職員より「今年の原水爆禁止世界大会へ参加された職員へのカンパと大会報告会(8/22)への参加の呼びかけがありました。

■深川ともか市議員より三郷市の平和啓発活動としてピアラシティと市役所で原爆パネル展(8/17 終了)を行っているとの報告。

★友の会幹事より絵本の紹介「世界的な霊長類学者 山極寿一(文)、あべ弘士(絵)「ぼくたちは、あらそうために生きるのか」階成社。

○ベトナム戦争で使われた化学兵器枯れ葉剤被害者支援チャリティーコンサート(10/17(土))への呼びかけ。

最後に、本日参加された皆様が平和を守ることを確認して閉会しました。参加者は 36 名でした。

友の会会長 新井 教代

ハッピードリームサーカス吉川公演 ～キラキラした眼差しで大満足～

認知症対応型共同生活介護 ファンハウス

近隣でサーカス団がやって来るという情報を職員がキャッチしました。急遽ではありましたが職員と入居者で相談をし、外出計画を立てる所から始まりました。

観覧席は自由席からプレミアム席まであり、私たちは自由席の最前列をなんとか確保する為、職員と入居者で協力し結果最高の座席を確保することができました。

演目ではロープで吊られた団員達を下から眺めたり、ギリギリの角度で走るバイクなど大音量や光の演出に驚きながらも技が決まると皆さん大きな拍手を送っていました。



規格外の演出を終えた帰路ではその余韻に浸りながら「こんな楽しい所に連れて来てくれてありがとう」とキラキラした眼差しで職員に話されていました。

準備から当日まで急ピッチの準備ではありましたが、今回の企画は大成功で終える事ができたのではないかと感じています。

今後も一人一人が楽しめる、またそのきっかけとなる様なイベントを入居者と相談をしながら&楽しみながら計画を立てていきたいと思っています。

ファンハウス 清宮 拓也

< 地域の話題 >

保護猫活動ライフ ～命は、みな平等・大切～

私が保護猫活動を始めたのは、2023年7月のことです。職場の先輩から、市内の動物保護団体が猫の預かり先を探していると相談されたことがきっかけでした。

私は小さい時から犬猫を飼っていて獣医に憧れていた頃があったため、また猫と関わるができるチャンス到来！と気持ちが昂揚したのを覚えています。家族に相談し、4匹の兄弟猫を預かることにしました。初めは怯えてトイレに隠れていた4匹でしたが、親猫と離れても無邪気に戯れ合う子猫たちに毎日癒され、多感期の我が娘にもアニマルセラピー的ないい影響がありました。



やがて4匹は、それぞれ里親さんのもとへ巣立っていきました。寂しさを感じる一方で、幸せなお家猫へと送り出せた喜びも大きく、「これからも命をつなぐ活動を続けたい」と思うようになりました。

家族の理解と協力を得て、家の隣にあるプレハブを改装し、保護猫たちの居場所「猫川荘」を始めました。現在は1日に最低3回訪問し、仲間と交代しながら世話をしています。法人内のスタッフや同僚からの温かい応援と協力も、大きな励みになっています。

活動を通して、仕事を持ちながら猫たちの命を守っているみさと動物愛護クラブの皆さんの姿にも、深い感銘を受けました。日々の献身的な活動に、心から尊敬しています。また、以前アカシア会の職員駐車場にいた子猫たちも、法人スタッフ何名かが家族として迎えてくれています。猫たちを思う気持ちが、人から人へ受け継がれていることを感じます。

猫たちがつないでくれた、たくさんの温かなご縁と保護猫活動は日々を優しく豊かにしてくれます。猫さんたちは、まさに「招き猫」ですね。保護猫を知る、関わる、飼うという選択を♪広めたいです。月一回の譲渡会にもぜひ皆さんにお出かけいただきたいです。

◆みさと動物愛護クラブ主催「ねこちゃん譲渡会」毎月第二日曜日 12:00～15:00

島忠ホームズ三郷中央店 2階エントランスにて

ファンハウスサテライトアカシアの家 根岸 美穂

息子(螢)の

夏休みの過ごし方

小学校に入って二回目の夏休み。

私が仕事で日中不在のため、夏休みの間は、祖父と二人で朝から夕方まで過ごしています。

昨年の夏はどうだったかというと、【YouTube やゲーム 三昧の夏！】でした。宿題が早々に終わってしまい「暇だ～」と言って過ごすことが多く、暇な時間で YouTube やゲームをして時間を潰す夏休みになっていました。



そこで今年の夏休みは、まず目標を立ててみました。題し【「野球と勉強を頑張る夏！」】です。

私は毎日息子の1日のやることリストを作り、これが全部終わったらゲームができる…(ただし2時間まで)。こんな感じでメリハリをつけられるようにしました。

頑張って勉強しながら、時には野球のお友達と遊びに行ったり、練習をしに行ったり…。

息子なりに頑張った良い夏休みが過ごせたのではないかと思います。

アカシア訪問看護ステーション 上杉 千広



★^{ほたる} 螢 君から夏休みについて一言
「疲れた。少し楽しかった。早く学校に行きたい」

お母さんは(笑い)でした。



【編集後記】

今、「土砂災害特別警報」「大雨危険警報」「緊急安全確保」という警報が各地に発令されている。猛暑、渇水から一転した大災害。ネパールなどを襲った大規模な土石流には目を疑う。

今、宇宙から見た地球は青く澄みわたってはいないのではないだろうか。

平和も怪しくなっている。

このままでは、螢君達、将来を担う子供らに「未来」をバトンタッチできない。

次回の「平和の集い」には、多くの若者が自分事として参加できるような工夫が必要ではないだろうか。



(な)